

広島都市圏の医療提供体制に 関する取組

平成26年3月28日

広島県健康福祉局

医療・がん対策部長 菊間秀樹

背景となる問題意識

(1) 医療需要が急増する現実 → 医療提供体制の効率化が必要

今後、高齢化の一層の進展により、医療需要は増え続け、県内の入院患者数は、2035年には対2010年比で1.2倍を超える見込みである。

一方、4基幹病院※においては、役割分担が整理されておらず、重複する機能を有するなど、効率的な体制とはなっていない。とりわけ急速な高齢化が進む広島都市圏において、急増する医療需要に対応していくためには、医療提供体制の効率化が必要である。

● 広島市における高齢化の加速

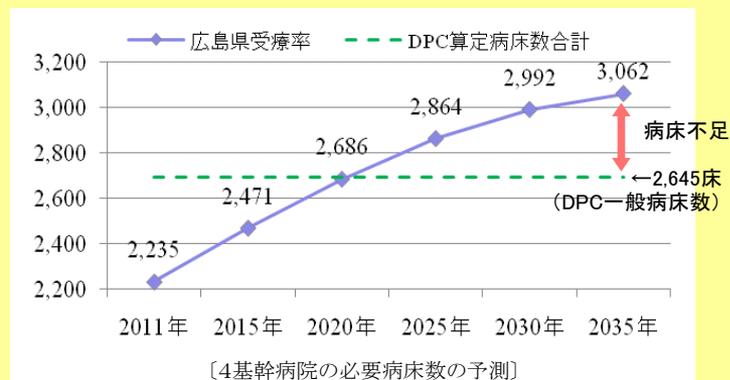
～高齢化率 2010年20.2%→2025年28.4%

● 医療需要の増大

～広島市内の入院患者は、2030年に2010年比で、整形疾患で1.4倍、悪性腫瘍で1.3倍、脳血管疾患で1.5倍、心疾患で1.4倍増加
～2035年には4基幹病院で400床以上不足

● 4基幹病院で重複する医療機能

～周産期母子医療、がん拠点病院、救命救急センターなど



(2) 医師の疲弊と不足のおそれ → 医療現場の魅力づくりが必要

県内においては、近年、他県に比べて著しく若手医師が減少している。

また、広島医療圏は入院患者数当たりの医師数が少なく、このままでは、医師不足と医師の過重労働に拍車がかかるおそれがある。

このため、症例集積や高度医療機能の整備など、若手医師を惹きつける医療資源の魅力づくりが急務である。

※「4基幹病院」…広島大学病院(746床)、広島市民病院(743床)、県立広島病院(713床)、広島赤十字・原爆病院(598床)

これまでの取組

広島県地域医療再生計画（平成22年1月）

- (1) 広島都市圏の救急医療体制の充実強化
- (2) 広島都市部の4基幹病院の再編

広島都市部に集中する大規模4基幹病院（広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院）の機能分担と連携を推進するため、放射線治療分野に係る4病院の機能を再編・集約し、新たに「高精度放射線治療センター（仮称）」を整備する。

- (3) 総合的な人材確保対策の基盤づくり

広島都市圏の医療を考える懇話会（平成24年度）

4基幹病院再編の意義や二葉の里地区に整備する新たな医療機能に係る課題について意見交換。

広島県経済財政会議（平成24年度、25年度）

4基幹病院の再編（機能分化と資源集約）が提案された。一方で、「国、県、市等の垣根を越えた病院の再編は他県でも前例がないだけにハードルも高く、大胆な議論が必要。広島県が旗振りすることでまとめられるのか。国からある程度の規制緩和と財源をもらい、コントロールしていくのが一番近道ではないか。」といった意見も出された。

広島県治験等症例集積機能向上パイロット事業の実施に関する協定の締結（平成25年11月）

試験的に県内の4基幹病院による被験者の相互紹介事業（パイロット事業）を実施（全国初）
※参加病院・・・広島大学病院、広島市民病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院

広島都市圏の医療に関する調査研究協議会（平成25年度）

広島都市圏の医療に関する調査研究協議会

調査研究テーマ	
(1) 都市圏医療の機能強化の必要性と方向性	
	* 資源集約によるスケールメリット（症例集積など）
	* 利害を超えた効果的な機能強化を可能にする連携スキーム
(2) 高度医療機能の絞り込みと実現可能性	
	* 将来の医療需要を見据えた国際レベルの高度医療施設
(3) 基幹病院の連携強化	
	* 放射線治療や治験集積に続く連携事業の拡充
(4) 患者紹介機能の強化	
	* 医療機関の垂直連携の促進、かかりつけ医の定着促進

● 日程

第1回 1月9日、第2回 2月6日、第3回 3月13日

● メンバー

広島大学長【座長】

4基幹病院事業管理者(院長)、広島大学関係者、岡山大学関係者、広島県医師会長、県行政、市行政、有識者

目指している姿

広島版地域包括ケアシステム(ヘルス&ヒューマン・サービス・システム) ～重層的に切れ目なく住民を支える医療・保健・介護・福祉・住まいのネットワーク～

<基幹病院等の機能分化・集約>

病院の機能分化と資源集約, 病院間の垂直連携により, 入院機能と後方機能を強化し, 早期治療・早期退院・早期回復を実現

基幹病院



広島大学病院



広島市民病院



県立広島病院



広島赤十字・原爆病院

<広島県が目指す将来の姿>

- ✓ 患者が早期治療・早期退院できる。
- ✓ 患者が高度医療を受けることができる。
- ✓ 医療人が安心して働くことができる。
- ✓ 基幹病院が適正規模で配置されている。
- ✓ 病院間の連携体制が確保されている。
- ✓ 病院の強固な経営基盤が確保されている。
- ✓ 国際レベルの高度医療機能が整備されている。
- ✓ 国内外から患者や医療人材が集まる。
- ✓ 治験や臨床研究が活発に行われている。
- ✓ 医療関連産業が集積している。

医療機能の 連携強化

